



阪神・淡路
大震災を
伝える

語り部フォーラム 2020

基調講演「震災の教訓は災害文化を創る」

河田 恵昭 人と防災未来センター 長

第1部

企業の現場から



コーディネーター

永松 伸吾

関西大学
社会安全学部 教授



河野 忠友
カワノ株式会社
代表取締役社長



吉川 公二
株式会社フェリシモ
社長室 室長



保井 剛太郎
三ツ星ベルト株式会社
総務部 部長 兼 神戸事業所長

第2部

語り継ぎの現場から



コーディネーター

小林 郁雄

人と防災未来センター
上級研究員



崎山 光一
稲むらの火の館
館長



野村 勝
人と防災未来センター
語り部



米山 正幸
北淡震災記念公園
総支配人



岩崎 昭子
宝来館(岩手県釜石市 旅館)
女将

2/3 MON

13:00~17:00

会場：兵庫県公館

大会議室

神戸市中央区下山手通 4-4-1



定員：300人

参加費無料

事前申し込み

先着順

主催： 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

お問い合わせ： 人と防災未来センター 事業部運営課
語り部フォーラム担当 tel:078-262-5502

日 時：令和 2 年 2 月 3 日(月)

13:00 ~ 17:00

場 所：兵庫県公館 大会議室

阪神・淡路
大震災を
伝える

語り部フォーラム 2020

震災から 25 年。創造的復興に取り組んできた被災者の皆さんの努力と国内外から寄せられた温かい励まし・支援により、今では、一目見ただけではわからないほどの街並みを取り戻しています。一方で、被災地でも直接の被災経験の無い方が増え、震災の風化が懸念されています。

日本各地で頻発する風水害や土砂災害、南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害の発生が危惧されるなか、語り部活動に象徴される震災記憶の継承は、その経験と教訓を次なる災害に活かし、災害に強い社会やまちをつくるのに非常に重要です。

このフォーラムは、「企業」と「語り継ぎ」の 2 つの現場で活躍されている方々とともに、改めてこれまでの歩みを振り返り、教訓の活かし方や伝えることの重要性、風化させないための取組について考える場とします。

Program

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会 開会あいさつ
- 13:10 基調講演「震災の教訓は災害文化を創る」
- 13:45 パネルディスカッション 第 1 部：企業の現場から
- 15:30 パネルディスカッション 第 2 部：語り継ぎの現場から
- 17:00 閉会



アクセス：JR・阪神元町駅下車、北へ徒歩 5 分。神戸市営地下鉄県庁前駅下車、徒歩すぐ。
当日は南側（海側）正面からご入場ください。公共交通機関をご利用ください。

定 員：300 人（一般県民） 参加費無料

※聞こえない・聞こえにくい方への情報配慮あり（手話通訳・要約筆記・磁気ループ）

参加方法：事前申し込み 先着順。（席に余裕がある場合、当日参加いただけます。）

受付期間：1 月 29 日（水）まで



阪神・淡路大震災 25 年

申し込み方法

定員に達しで参加
いただけない場合のみ
ご返信いたします。

- ウェブサイト → フォームからお申し込みください。 <https://hitobou.com/entry/form200203fo/>
- FAX → この申込用紙に記入し、送信ください。 FAX: 078-262-5509
- 記入用紙の持参 → 人と防災未来センター 西館 1F 総合案内にお持ちください。



参加申込書	2/3 「阪神・淡路大震災を伝える語り部フォーラム 2020」への参加を申し込みます。	FAX: 078-262-5509 (事業部運営課)
ふりがな 必須 お名前	年齢 歳代	必須 申し込み本人を含む合計人数 参加人数 名
所属・役職		
住 所 神戸市の方=() 区 / 神戸市以外の方=() 都・道 () 市・町 府・県 () 村		
電話番号 必須		
電子メール		
情報配慮の希望 手話通訳 ・ 要約筆記 ・ 磁気ループ 参加にあたり希望される項目に○印をつけてください。(複数可)		

※記入いただいた個人情報は、本イベント以外の目的には使用しません。